

6. 学術情報センター

学術情報センター長	南沢 享 (細胞生理学講座)	(平成28年4月から)
学術情報センター図書館国領分館長	三崎 和志 (医学科)	(平成31年4月から)
学術情報センター標本館委員会委員長	橋本 尚詞 (解剖学講座)	(平成20年4月から)
学術情報センター国際交流センター長	芦田 ルリ (国際交流センター)	(平成29年4月から)

1) 2019年度統計 (2019年4月1日～2020年3月31日)

(1) 図書館

① 蔵書冊数	262,000冊
② 現在受入雑誌数	650種 (和561種、洋89種)
③ 電子ジャーナル提供数	8,487種
④ 館外貸出冊数	7,600冊
⑤ 入館者数	88,162人
⑥ 他学との文献相互貸借数	貸出1,497件 借受2,249件
⑦ 複写サービス	39,119枚 (代行複写、国領・葛飾・第三・柏へのFAX送信、相互貸借 (他館))
⑧ 情報検索サービス	108,588件 (代行とセルフサービスの合計)

(2) 国領分館

① 蔵書冊数	92,646冊
② 現在受入雑誌数	224種 (和182種、洋42種)
③ 館外貸出冊数	6,818冊 (視聴覚資料含む)
④ 複写サービス	360件 (西新橋・葛飾・柏へのFAX送信相互貸借 (他館))

(3) 標本館

① 所蔵標本数	マクロ標本	1,824点
	顕微鏡標本	2,549点
② 所蔵視聴覚資料	ビデオ・プログラム	1,917セット
	スライド・プログラム	601セット
	16mmフィルム	37セット
	コンピュータ・ソフトウェア	76セット
	語学プログラム	206セット
	その他	79セット
③ 見学者数		676名 (学内148名、学外528名)

(4) 史料室

① 所蔵史料	3,162点
② 見学者数	59名 (学内15名、学外44名)

(5) 写真室

① 撮影・スライド作成	135件 (5,341枚)
② ビデオ編集	72件 (502.5時間)
③ カラープリント出力 (ポスター作成含む)	628件 (11,693枚)
④ 35mm スライドのデジタル化	1件 (700枚)

(6) 国際交流センター

① 海外選択実習

派遣 協定校

医学生 22名 (男子15名、女子7名)

(英国7、米国6、ドイツ、台湾、シンガポール各3、タイ、韓国 各1)

看護学生 2名 (女子2名) (英国2)

受入 医学生 69名 (男子33名、女子36名)

(英国20、オーストラリア13、台湾10、ニュージーランド9、ドイツ8、米国2、他7)

(救急科、小児科、麻酔科各8、産婦人科6、消化器外科、皮膚科各5、呼吸器外科、整形外科、脳神経外科各4、形成外科、血管外科、耳鼻咽喉科、消化器・肝臓内科、小児外科、放射線科各3、眼科、腎臓・高血圧内科、泌尿器科各2、他3)

看護学生 2名 (女子2名) (英国2)

② International Cafe (海外からの選択実習生と本学学生、教職員との交流会)

開催：41回

③ 医学科学生の英語医療面接実習

開催：1年生 2回、4・5年生 6回

④ 看護学科学生の英語医療面接実習

開催：3年生 2回

2) 主な事項

(1) 教育・研究年報に関すること

① 『東京慈恵会医科大学教育・研究年報2018 (第38号)』、『Research Activities 2018』の編集

両年報の編集作業を担当した (両年報とも12月1日発行)。

(2) 図書館システムの管理に関すること

① 図書館システムの運用

図書館システムのネットワーク機能を利用して分院所属の教職員からの複写申込を受け付けてきたが、2019年4月から、西新橋教職員もインターネットでの複写申込の対象とした。

(3) 図書・雑誌等の情報管理、情報サービスに関すること

① ネットワークを介した情報提供

電子ジャーナルと医学関連データベースをネットワーク経由で利用できる環境を維持した。データベースに新規データが追加された際に電子メールにて通知するAutoAlertサービスを引き続き実施している。また、新聞 (全国紙) 4紙から医療および大学関係の記事の見出しを学内に電子メールで配信するサービス (平成16年12月開始) も継続した。

② リモートアクセスサービスの提供

大学ネットワーク上で利用可能となっている電子ジャーナルおよびデータベースを学外 (自宅や派遣先) からアクセスするためのサービスである「リモートアクセスサービス」 (平成21年度開始) の利用者登録とサポート作業を行った。2019年度の新規登録者は331名であった。

③ 医学部学生および大学院生の演習の担当

医学科1年生の「情報検索演習」、2年生の「医学総論」、3年生「医学統計学Ⅱ演習」、看護学科1年生の「総合演習」、3年生の「研究方法論:文献検索実習」での情報検索演習、看護学科1年生の図書館オリエンテーション、大学院医学研究科看護学専攻1年生への演習を担当した。

(4) 利用者支援・指導に関すること

① 教職員等を対象とした情報検索演習

教育センターによる附属4病院の在職看護師を対象とした「エデュケーションナース研修」(9月9日)、日本看護協会の資格認定制度である認定看護管理者教育課程ファーストレベル(10月5日)と東京慈恵会による学外の看護教育関係者を対象とした「教務主任養成講習会」(6月18日)で情報検索演習を担当した。

教職員を対象としたデータベース講習会を3回実施し、延べ51名の参加があった。研修医シミュレーション研修の情報検索演習を担当した(11月16日)。

② 医学論文書きかた講習会の開催

Jikeikai Medical Journal編集委員会と東京慈恵会医科大学雑誌編集委員会の共催による以下の講習会の開催を担当した(開催時間は、いずれも18時～19時30分)。これらの講習会は大学院共通カリキュラムの必須科目「医学研究概論」の授業を兼ねている。

・「差が出る研究テーマ選択の考え方～臨床研究法施行をうけて～」(5月14日)(参加68名)

江田誉先生(平成14年卒,千葉大学大学院医学研究院整形外科学客員教授,ファイザー株式会社社骨粗鬆症エリア推進チーム担当部長)

・「質の高い論文は質の高い研究計画から生まれる」(5月16日)(参加64名)

西川正子教授(臨床研究支援センター)

・「Treatable Signs and Symptoms of Japanese Medical Writing」(5月28日)(参加65名)

岡崎真雄教授(学術情報センター医学英語研究室)

・「Understanding aspects of formal academic writing」(5月30日)(参加53名)

小原平教授、ジョン・スーリア講師(英語研究室)

(5) 総合展示に関すること

① 総合展示の開催

1月20日～31日に、大学1号館ロビー、高木2号館地下1階ロビーにて開催した。

「日本人晒浄頭蓋骨の下顎窩の解剖学的研究、ならびにそれを応用した顎関節症治療時の顎関節腔穿刺時の頭蓋窩損傷の偶発症についての検討」
(伊介昭弘教授 歯科(歯科口腔外科))

(6) 画像データ等コンピュータ・サービスに関すること

① 教材・研究資料の作成支援

学生・教職員、同窓生を対象として、静止画・動画の撮影、画像データのデジタル編集、ポスター作成、ビデオ編集、35mmスライドのデジタル化の各サービスを実施した。

(7) 学術リポジトリに関すること

① 学術リポジトリの運用

本学発行物(『東京慈恵会医科大学雑誌』、『Jikeikai Medical Journal』、『教育・研究年報』、『英文研究年報 Research Activities』)の掲載記事、本学の歴史に関する出版物、本学教員学術論文(学外発行誌掲載含む)の学術リポジトリへの登録によるインターネット公開を担当した。また、学事課との協力により、学位論文要旨、主論文をリポジトリに登録したほか、学位論文の学術リポジトリ公開を定めた学位規則施行後(平成25年4月1日以降)に本学にて授与された学位論文の情報を公開した。2019年度の学術リポジトリへの登録件数は326件、閲覧26,206件であった。

② 学位論文に関する著作権調査

編集室(図書館内)にて、学位論文に係る著作権処理の問合せへの対応を担当した。2019年度は問合せに応じ113件の調査を行った。

(8) 広報活動支援に関すること

① 広報活動支援業務

学内行事および広報用の写真撮影、画像データの保管・提供を担当した。

(9) 国際交流センターに関すること

海外での学習、発表等に対する奨学金や助成金の支給に関する業務を担当した。

- ・宮本幸夫を応援する会による海外派遣助成 前期 2名30万円 後期 1名10万円
国際交流センター運営委員会にて選考した候補者を教授会議に報告の上、学長により決定された。
- ・学外研究員 平成29年度選考者 1名153万円、平成30年度選考者 1名366万円、2019年度選考者 1名366万円
2019年度学外研究員について、国際交流センター運営委員会にて選考した候補者と選考過程を学長に報告し、学長により決定された。
- ・慈恵医師会海外選択実習奨学金 13名206万円
希望者から国際交流センター運営委員会が選考し、教学委員会に推薦した。教学委員会は支給者を決定し、教授会議に報告した。
- ・独立行政法人日本学生支援機構 2019年度海外留学支援制度（協定派遣・協定受入）
6名56万円（派遣） 9名72万円（受入）
協定校での選択実習希望学生から国際交流センター運営委員会が選考し、独立行政法人日本学生支援機構に申請の上、支給した（協定派遣）。また、協定校からの選択実習生から国際交流センター運営委員会が選考し、独立行政法人日本学生支援機構に申請の上、支給した（協定受入）。

(10) その他学術情報センター業務に関すること

① Turnitin Feedback Studioの利用

剽窃・盗用防止の意識を高めることを目的として、平成28年度に大学にて導入されたオリジナルライティングの教育支援ツールTurnitin Feedback Studioに関して、医学科・看護学科の授業における利用のサポート、学内教員の利用登録を担当した。2019年度は14名の新規登録者があり、利用登録者は累計で77名となった。

② 抄録・引用文献データベースScopusの導入

2019年8月に、大学にて抄録・引用文献データベースScopusが導入された。研究支援課と協力して、利用支援、活用促進を図ることとなり、西新橋キャンパス（11月25日）、葛飾医療センター（12月3日）、国領校・第三病院（12月5日）、柏病院（12月9日）で利用説明会を開催した。さらに葛飾医療センター内科医局会内でScopusと臨床支援ツールUpToDateの説明を担当した（2月18日）。

③ 図書館環境整備について

図書館環境整備の一環として、2019年度前半に、西新橋図書館の入退館ゲートの交換、図書館入口へのLED照明の取付け、図書館2階女子トイレの改修、図書館入口防犯カメラ設置の各工事が実施された。

④ 図書館内飲食ルールの変更

図書館内は飲食禁止であったが、図書館利用規則を改定し（2019年7月10日/25日）、密閉できる容器に入った飲み物の飲用を許可することとなった。

⑤ 医学科試験期間の土曜・日曜・祝日の図書館の開館時間の変更

医学科学生会からの希望を考慮し、試験期間（8月、11～1月）、土曜日の開館時間の延長、日曜日の開館時間の変更、祝日の開館に対応した。

⑥ 史料室展示ケース内の展示物のカビ対応

展示物18点（礼服、色紙、賞状、勲章、書幅ほか）にカビが発生したため、燻蒸、クリーニング・修復の措置をとることとした。なお、学内に湿度管理された保管場所の用意ができるまで、展示物は外部倉庫を借用して保管する。

⑦ 西新橋再整備計画「西新橋再整備計画WG」への参加

平成26年度から継続して西新橋再整備計画WGに参加した。なお、図書館・標本館・写真室が配置する高木会館の減築・耐震補強工事が2019年1月に開始され、2019年9月

に終了した。

- ⑧ 「東京慈恵会医科大学130年史（平成23年度発行）」関連の業務
掲載内容に関する問合せへの対応、130年記念事業寄付者へ送付確認作業を担当した。
- ⑨ 新型コロナウイルス感染拡大防止のための図書館休館
図書館（西新橋本館・国領分館）の2020年3月30日～31日の開館時間短縮、4月1日から一定期間の休館を決定し、休館時の至急の図書・雑誌貸出、複写への対応を確認した。